

令和4年度 第5回 稲敷市外部評価委員会

日時：令和4年10月21日（金）午後10時00分～

場所：稲敷市役所

発言者	発言内容
-----	------

1. 開会

事務局	皆様お揃いですので第5回稲敷市外部評価委員会を始めます。今回は最後の回となっておりますけれども、よろしく願いいたします。次第に沿って進めたいと思います。
-----	------------------------------------------------------------------------------

2. 議事

砂金委員長	<p>それでは議事に入ります。先程事務局からありましたように、20分ぐらいに市長がいらっしゃるという事ですので、「(1) 令和4年度外部評価委員会報告書案の確認・決定」について、20分程度で進めさせていただきます。</p> <p>次に、「(2) 改善点等の提案」で、5回の外部評価をふまえて、改善点があれば提案いただきます。できればお一人2～3分ずつご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(1) 令和4年度外部評価委員会報告書案の確認・決定

砂金委員長	それではまず、議事「(1) 令和4年度外部評価委員会報告書案の確認・決定」について事務局から説明をお願いいたします。
事務局	《資料説明》
砂金委員長	ありがとうございました。基本的には前回皆様にご議論いただいたものをすべて反映していただいたような形になっているものですが、何かお気づきの点などございましたらご発言いただければと思います。如何でしょうか。
委員	《報告書案確認》
砂金委員長	ありがとうございました。20分になってしまいましたが、他にいかがでしょうか。
砂金委員長	ではこれで確認して決定ということにさせていただきます。
事務局	ありがとうございました。ここで5分程度休憩とさせていただきます。
	《休憩》

(2) 改善点等の提案

砂金委員長	それでは続きまして議事の「(2) 改善点等の提案」、簡単に説明お願いいたします。
事務局	《資料説明》
砂金委員長	では、順番にご意見をいただきたいと思います。一人につき 2～3 分程度でお願いいたします。小嶋委員からお願いします。
小嶋委員	5 人で時間をかけてまとめましたので、行政の説明責任という目的も外部評価にはありますが、それ以外にも、この評価の結果を施策、事業に反映していただくようによろしくお願いいたします。
砂金委員長	佐々木委員お願いします。
佐々木委員	今回は外部評価委員として参加させていただいて、様々な良い所もありましたし、チャレンジングな所もあったというふうに思いました。今回は外部評価委員 5 名で様々な検討をさせていただきましたが、こういう場に、例えば若者を入れるとか、そういうような形の別の機会もあればと思いました。私は委員長と、行政との関連で一緒させていただくことができますが、「よそ者、若者、馬鹿者を入れよう」という話を聞きました。馬鹿者はどうなのかよく分からないのですが、「よそ者」として我々のような者を呼んでいただいたり、若者を呼んだり、色々な視点を確保するというのが課題なのかなと思いました。
砂金委員長	ありがとうございました。諸岡委員お願いします。
諸岡委員	先程伺ったのですが、外部評価を行っていない市町村が多くあるということで、稲敷市はよく取り組んでいると思います。評価のサイクルが目的にならないように、苦しくならないようにして続けていただければ良いと思います。また、少子高齢化の中ですから、10 年後、20 年後、長い先を見据えたものを考えても良いのかなと思います。
砂金委員長	ありがとうございました。村松委員お願いします。
村松委員	今回は勉強させていただきました。先程佐々木委員がおっしゃったような、「よそ者、若者、馬鹿者」の馬鹿者枠で参加できたのかなと思っております。砂金委員長、佐々木委員、小嶋副委員長、諸岡委員と、活発かつ真剣な議論に参加させていただいて、とても楽しかったです。あとは、全体的にはもっと褒めてあげたかったという思いがあります。よくやっているな、ということが、何となくここに表現できなかったということが少し残念だなと思っています。良い勉強をさせていただきました。ありがとうございました。
砂金委員長	私からも少し。今、村松委員がおっしゃったように、楽しかったです。私は他市町村でもいくつか行政評価に関わっているのですが、事務局が作った原案の追認というところが実は多いのです。稲敷市の場合は本当に

	<p>本質的な議論ができています。そういう意味ではかなり個性的な方が集まって個性的な議論ができたので、これは本当に楽しかったし、私は行政学の勉強になりました。ありがとうございました。</p> <p>それで、今後に向けてなのですけれども、最初にいただいた基礎データの中にエラーがいくつかありました。我々が参考にさせていただく上で、エラーがあるとなかなか大変なので、なるべくエラーが無い形で出していたら良かったと思います。</p> <p>ただ、各担当部局の方々が、行政評価のために時間をかけて資料を作っていくというのはとても大変だと思うのです。評価疲れという話をよくしていましたが、行政評価をすることがかえって業務を増やしてしまう、という事になりかねません。これだけデジタル化とか DX と言っている時代ですから、通常業務で入力したものが行政評価の基礎資料になってくるような形のシステム統合なども、長期的には考えていかなければいけないと思っています。以上です。</p>
事務局	<p>では、今いただいたご意見を参考に、また評価のほうを明日から頑張っていくしますので、よろしく願いいたします。</p>

(3) 市長への報告

砂金委員長	<p>それでは「(3) 市長への報告」に移ります。</p>
事務局	<p>こちらですが、委員の皆様から今回まとめた報告書をお渡ししたいと思います。恐縮ですが、皆様、前の方へご移動いただければと思います。</p>
	<p>《市長へ報告書提出》</p>
事務局	<p>ここで寛市長の方から一言お願いしたいと思います。</p>
寛市長	<p>改めましてお疲れ様でございます。ただいま砂金委員長から報告書をいただきました。委員の皆様には大変お忙しい中ご尽力いただきまして、誠にありがとうございました。今年度は、令和2年度に行政評価のあり方を見直してから初めての外部評価になります。各委員には大変お忙しい中、大変なボリュームの資料を持ち帰られ、自宅で評価作業を行っていただき、また計5回にわたり開催をされた会議においても、非常に活発な議論をいただいたというふうに伺っております。委員の皆様には、第1に市民の目線に立って、また時には市職員の事情等にもご配慮いただきながら、率直にご意見を出していただき、深く感謝を申し上げます。社会情勢が毎日めまぐるしく変化していく昨今、引き続き行政サービスを充実させていくためには、長期的な視点を持ちながら、よりスピード感を持って、柔軟に対応していくことが求められております。今回いただいた評価やご提案には、まさにこのヒントとなるものが詰まっているものと思われま</p>

	<p>在、本市では、令和5年度予算編成作業を行っております。いただきました外部評価の結果を踏まえまして、今後の事業の見直しを図り、次年度予算にも着実に反映させていきたいというふうに考えております。</p> <p>また、来年度は現在の総合計画基本計画の最終年度となり、次期計画の策定作業を予定しているところでございます。現在の行政評価のシステムとした目的の1つが、評価結果を次の計画に生かすこととあります。皆様がこれまで培ってこられた知識や、豊富なご経験から出された意見を、今後の本市の計画策定に、確実に反映して参りたいというふうに考えております。</p> <p>結びとなりますが、今年度の、この外部評価委員会は、稲敷市が将来にわたり持続的に発展していくための貴重な機会として、大変意義のある委員会であったというふうに考えております。委員の皆様には今後とも、本市の行政運営に対しまして、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。御礼の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. その他

砂金委員長	それでは、「3. その他」、事務局お願いいたします。
事務局	<p>では事務局から事務連絡をいたします。本日をもって今年度の外部評価委員会が終了となります。ありがとうございました。皆様の任期は、総合計画の期間ということなので、来年度、すなわち令和6年3月まで、外部評価委員として任命をさせていただいているところでございます。来年度はもちろん、今年のような委員会の開催はしない予定なのですが、計画最終年度ということで、担当課評価と3担当評価のご報告と、あとは、次期総合計画の策定状況の報告のようなものをできればと考えております。目安としては夏ごろを予定してございますので、忘れないでいただければ、と思います。その際はまた改めてご連絡差し上げますので、是非とも来年度も議論していただきたいと思います。</p> <p>また、最後に砂金委員長のほうからありましたエラーの件は、私達も非常に重く受け止めております。今後、財務と、実施計画と評価のほうを連動させていきたいと考えています。予算には執行率が反映され、予算要求、予算査定をして、予算が変われば実施計画に反映させるというように、ベンダーと調整して動き始めました。その旨もご報告できればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。私のほうからその他については以上となります。</p>
砂金委員長	ありがとうございました。それではこれでよろしいでしょうか。

4. 閉会

事務局	<p>この後、この外部評価報告書を公表に向けて、一度庁内で最終チェックする予定です。大きな修正、趣旨が変わるようなものであれば、委員長とご相談をさせていただいて、修正をさせていただくようお願いいたします。どういう形で情報共有させていただくかは、検討するようにいたします。</p> <p>では、名残惜しい限りですが、所管していた課長としてお礼を申し上げたいと思います。先程委員からあった、褒めてあげたかったというのは、非常にありがたく感じるところで、やはり行政はマイナス評価が多いので、そこが大事なのかなというふうに今感じているところです。加えて今後は市長などにも入っていただくと良いかなと思います。我々もこの後、今の形がベストとは思わずに、改良を加えていきたいと思いますので、また引き続きご指導等いただければと思います。よろしくようお願いいたします。では今年度最後になりますが、ありがとうございました。</p>
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

以上